

会員 各位

平素から大変お世話になり有難うございます。

日本獣医臨床病理学会の会長の大阪公立大学（元大阪府立大学）の嶋田照雅と申します。

現在当学会の年次大会が、「正確な臨床検査のためにいま私たちができること」をテーマにオンラインで開催しております。

下記のコンテンツをご覧頂き、是非学会へご参加頂けましたら幸いです。

ご高配の程何卒よろしくお願い申し上げます。

日本獣医臨床病理学会

会長 嶋田 照雅

=====

日本獣医臨床病理学会 2022 年次大会 ～ 正確な臨床検査のためにいま私たちができること ～のお知らせです。

日々の診療で、検査数値に不安や疑問を持ったことはありませんか？ 現在日本獣医臨床病理学会では、「正確な臨床検査のためにいま私たちができること」と題し、2022 年次大会を9月30日までオンラインで開催中です。

コンテンツは下記の内容です。是非、<https://form.run/@jsvcp-2022> からご参加のご登録をお願い申し上げます（【参加費】会員 3,000 円 非会員（獣医師等） 5,000 円 動物看護師 2,000 円 学生 1,000 円）。

教育講演 『正しい検査ルーティーンを身につける』

1. ビョーキは作れる！？ ウソの結果をもたらす、検体取扱いの落とし穴
井手香織 先生（東京農工大学）
2. その検査の値、どこまで信じる？ 院内測定の限界を知る
早川典之 先生（日本獣医生命科学大学）
3. それって今日診断できます！ 内分泌検査機器アップデート
湯木正史 先生（湯木どうぶつ病院）
4. 自動 CBC を鵜呑みにしない！ 塗抹検査で正しく補正できる
久末正晴 先生（麻布大学）

シンポジウム 『意外と知られていない動物医療の臨床検査事情』

1. ナルホド納得、生化学・免疫学的検査結果の作り方
浅井智仁 先生（富士フイルム株式会社）
2. 鏡検にどこまで近づいた血球計算装置

齊藤憲祐 先生 (株式会社堀場製作所)

3. 検査結果に納得できる？検査管理と基準範囲

末吉茂雄 先生 (女子栄養大学)

4. それでは検査結果を考えてみよう

5. 早川典之 先生 (日本獣医生命科学大学)

細胞診 ・ ドライラボ

1. 細胞診基礎教育：標本の作り方と細胞診からわかること

浅川 翠 先生 (どうぶつの総合病院, DACVP)

2. ドライラボ：一緒に標本から診断をしてみよう

石崎禎太 先生 (ノースラボ, DACVP)

田邊美香 先生 (動物病理診断センター, DACVP)

小笠原聖悟 先生 (小笠原犬猫病院, IDEXX, DACVP)

岩上大吾 先生 (東京農工大学)

根尾櫻子 先生 (麻布大学, DACVP)

一般演題

研究発表

犬の尿路移行上皮癌および前立腺癌における細胞診迅速蛍光抗体法を用いた COX-2 の検

古澤 悠

猫の消化器型リンパ腫における SAA の変化

秋吉 亮人

血中コルチゾール濃度による犬のリンパ腫の治療成績の比較

分枝 快斗

N-NOSE の犬と猫への応用について

杉本 敏美

BCG 法におけるイヌおよびネコ血清アルブミン測定による反応性について

福村 菜那

犬・猫検体における intact PTH 測定方法の探索

坂本 芽以

犬の歯周病治療介入における血液検査学的改善パターンに関する回顧的調査

田村 和也

犬のエリプトーシスにおけるセラミド形成に関する検討

眞下 大和

獣医療域のコマーシャルラボにおける臨床化学検査：精度管理の取り組み

津田 聡一郎

血球形態標準化に向けた白血球形態サーベイトリアル

根尾 櫻子

症例発表

イルカ飼料への水産物未利用資源導入によるフードエンリッチメント効果：イミダゾールジペプチド高含量のカツオ腹皮がイルカの臨床病理学的検査値を改善する

荒川奈那美

新しい intact PTH 測定系が病態の評価に有用であった犬の 2 例

白石 一郎

高カルシウム血症を呈した Talaromyces 属菌による播種性真菌症の犬の 1 例

秋山奈緒

上皮小体腺腫および腺癌を切除した犬の1例における血中カルシウムおよびPTH濃度	小野 雅樹
組織球増殖性疾患の犬の2例	井口 愛子
抗インスリン抗体によるインスリン抵抗性が疑われた猫の1例	谷口 陽菜
尿中ホルモン濃度測定でプロゲステロンおよびノルメタネフリンが高値であった副腎腫瘍の1例	榎本 武留
原発性アルドステロン症に原発性副腎皮質機能低下症を併発した猫の1例	岡本 梨沙
うっ血性右心不全を呈した肺MAC症の猫の1例	竹ノ内史子
捕捉性好中球減少症と診断したボーダー・コリーの犬の1例	清田 リサ